

K N O  
 小野澤繁雄  
 布宮 慈子  
 河村 郁子

泰山木さがしあぐねて三千歩心に還す花 六義園りくぎえん 6月17日 K  
 バスが停まって乗る人がいる流川そこにも何かよろこびがある 6月23日 O  
 水無月が終はらむとす水田に囲まれてゐる百日鬼温泉どめき 6月29日 N  
 庭石の上のくぼみに雫落つ青き葉よりの矮小惑星 7月5日 K  
 聞いてまでしりたき花名にアガパンサス庭にみるとも多く終盤 7月8日 O  
 てのひらを蜂に刺されつ実りたるブルーベリーを摘み取らむとして 7月12日 N  
 真夏日の墓参すませて涼をとる菩提樹の葉かげに青き実あまた 7月14日 K  
 少年はのびのびとしてかたわらは母か触れつつ待合室に 7月22日 O

合歡ねむの花ほわほ咲きて山越えの道明るめり夏の雲湧く 7月27日 N  
 百日紅のたわわに白き花の咲く枝先叩くゲリラの豪雨 8月2日 K  
 いつの間に百日紅も盛りなれしとどに落ちて踏まれる花片 8月9日 O  
 若者が真夏の成人式終へてドレス、スーツで通りへ繰り出す 8月14日 N  
 盛夏なつらしくない日の続くアンニユイに記録的短時間大雨予報 8月19日 K  
 みるときはひとつならずにみる花にリコリスの花盛夏この今日 8月21日 O  
 暑き日を眠らせるごと三日月と木星ちかづき西に輝く 8月25日 N  
 夜いまだ真夏日の気温のままにして旧七夕のうす雲晴れず 8月29日 K  
 残党とはいわれないながらラジオ体操終りしあとも子らは遊んで 8月31日 O  
 赤とんぼ里に下りくる九月なりスイカの残り香あるごとき日々 9月4日 N  
 せはしげに庭ぬちに舞ふ黄の蝶よ心残りは吾にしおなじ 9月6日 K